



FUSO REPORT

第59期 中間報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

扶桑化学工業株式会社

証券コード 4368



東証一部へ市場変更

当社株式は2015年12月7日、東京証券取引所市場第一部に市場変更されました。

これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と、改めて心より御礼申し上げます。

今後も更なる業績の向上と業容の拡大を図り、東証一部上場企業として、より一層の社会的責任を自覚し、企業価値を高めることで、皆様のご期待にお応えする所存です。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
赤澤 良太

Q 当上半期の業績についてお聞かせください。

🍏 当上半期における世界経済は、中国およびアジア新興国における景気鈍化はみられるものの、米国での個人消費の回復が継続し、設備投資等の内需拡大もあり、全体では緩やかな回復基調が続きました。日本経済は、期中の円安進行による輸入コストの上昇などがありましたが、企業収益の改善傾向が継続する中、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調にあります。

このような状況のもと、当社グループは最適な経営資源の投下、在庫・生産体制の抜本的見直しによる経営体質の更なる強化、原料の安定的な確保及びコスト競争力の強化を進めるとともに、“FUSOブランド”のグローバル市場での確立を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は175億7千7百万円（前年同期比22.4%増、32億1千8百万円増）となりました。営業利益は35億6千4百万円（同57.0%増、12億9千4百万円増）、経常利益は36億6千万円（同59.2%増、13億6千万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億4千6百万円（同69.7%増、10億4百万円増）となりました。

Q 2016年3月期の見込についてお聞かせください。

🍏 当上半期においては、期初に作成し公表した当初の計画よりも好調に推移し、2015年10月9日には2016年3月期の業績予想の上方修正を発表させていただきました。

ライフサイエンス事業においては、景気の回復を受け、アメリカの子会社であるPMP Fermentation Products, Inc.



での工業向けグルコン酸類の販売が継続して好調であり、高い収益性を維持しています。

また、国内においては、為替相場が比較的安定していること、および原油安等からリンゴ酸ビジネスが堅調に推移しています。

電子材料および機能性化学品事業においては、半導体の微細化・集積化が進んでおり、最先端分野での当社製品の採用が増加しております。

半導体市場での在庫調整、中国経済の減速の影響等、先行きに不透明感はありますが、今年度も過去最高の売上・利益を計画しており、計画達成に向けて、社員一丸となって事業に取り組んでまいります。

Q 今回の資金調達の背景と目的をお聞かせください。

🍏 今般の市場変更に伴い、公募増資による資金調達を実施し、主に設備投資等に充当していきます。引き続き、利益の最大化を目指してまいります。また、将来成長への必要な投資を進めるとともに、財務の健全性を維持しながら資本効率を高め、企業価値の向上を図ってまいります。

ライフサイエンス事業においては、中国の連結子会社である青島扶桑精製加工有限公司の製造設備を増強することでクエン酸生産能力を向上させ、拡大するアジアでの需要に 대응グローバル展開を更に推進してまいります。また、2014年10月に営業権を取得した有機酸事業の主力工場である鹿島工場について、その生産設備を承継するとともにリンゴ酸生産設備を鹿島工場に建設し、有機酸を軸にした「果実酸コンビナート」を構築することでコスト競争力の抜本的強化を図り、安定的で高品質な製品供給により「FUSOブランド」の確立を目指してまいります。

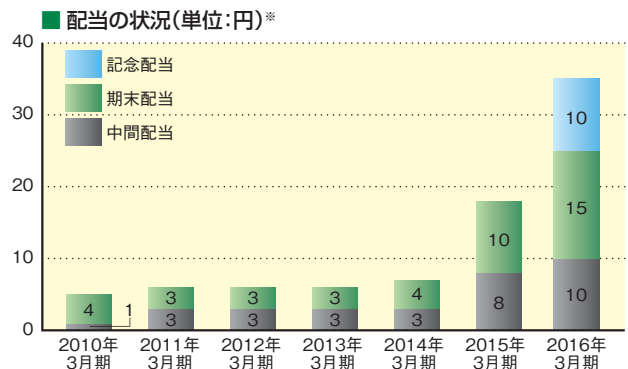
また、電子材料および機能性化学品事業の主力工場である京都事業所において、超高純度コロイダルシリカ生産設備の改造及び新設を行い、当社への需要および品質要求に対応し事業の拡大を進めることで、当社グループの更なる企業価値の向上を目指してまいります。

Q 今期の配当予想についてお聞かせください。

🍏 当期の中間配当金は、前期比2円増配の10円とさせていただきます。期末配当に関しましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、当社の市場変更を記念いたしまして、1株当たり10円の記念配当を実施させていただくことを予定しております。

また、直近の業績進捗等を総合的に勘案し、2016年3月期における1株当たり期末配当予想は、普通配当予想10円を5円増額し15円、それに記念配当10円を加え、合計25円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



*2014年10月1日付の株式分割(1:5)に伴い調整を行っています。



事業概況



ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が115億1千6百万円(前年同期比24.4%増、22億6千万円増)、営業利益は16億4千6百万円(同60.5%増、6億2千万円増)となりました。

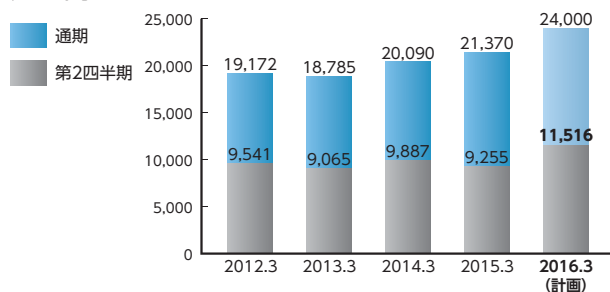
前連結会計年度下期より事業承継した無水マレイン酸・フマル酸の販売寄与があったこと、また、主に飲料用途において、夏場の需要増と新製品への新規採用があり、果実酸全般の販売が増加しました。海外子会社財務諸表の円安効果等も影響し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回りました。

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が60億6千1百万円(前年同期比18.8%増、9億5千7百万円増)、営業利益は23億8千9百万円(同47.0%増、7億6千4百万円増)となりました。

半導体プロセスの微細化の進展に伴った当社製品「超高純度コロイダルシリカ」の需要が旺盛であり、またナノパウダー等の半導体研磨分野以外向け製品の販売も堅調に推移しました。価格改定、一部商品の前倒し出荷があったことも寄与し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回りました。

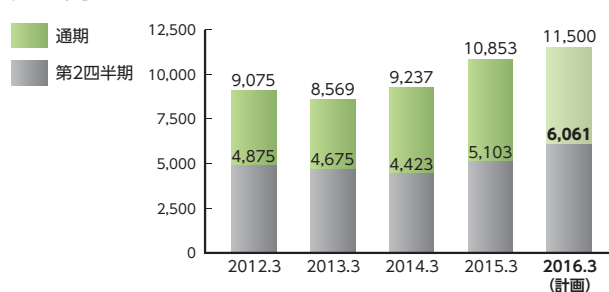
ライフサイエンス事業

売上高 (単位:百万円)



電子材料および機能性化学品事業

売上高 (単位:百万円)



TOPICS 果実酸

LIFE SCIENCE

ライフサイエンス事業部の主力商品といえば果実酸ですが、当社では食品添加物として指定されている**DL-リンゴ酸、クエン酸、グルコン酸、乳酸、酒石酸、フマル酸、コハク酸**を他の有機酸と区別して果実酸、さらにこれらの塩類を含めて果実酸類と呼んでおり、世界で唯一これらの全ての有機酸類を取り扱っております。中でもDL-リンゴ酸は国内では当社(大阪工場)が唯一生産しており、2017年上期に三井化学(株)の鹿島工場の設備類の譲受後には、原料からの一貫生産ができるようになります。また、クエン酸は青島扶桑精製加工有限公司で精製した高品質のものを日本の食品市場に提供しており、高純度が要求される工業用途にも採用されています。グルコン酸はPMP Fermentation Products, Inc.で製造しており食品添加物用途だけでなく、各種工業用途にも採用されています。

これら果実酸類は食品用途においては酸味を付与するだけでなく、食品のpHを調整して日持ち向上や品質の保持・向上を図るために用いられます。このpH調整の技術を応用し、ランチフレッシュシリーズやクラフトワークシリーズといったpH調整剤製剤の開発により、最近目覚ましく伸長しているコンビニエンスストア向け弁当・惣菜類など各種食品への製剤の採用が進んでいます。

これからも当社ライフサイエンス事業部は果実酸類を核に、さらなる発展を目指していきます。





連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2015年9月30日)	前連結会計 年度末 (2015年3月31日)
資産の部		
流動資産	24,978	23,330
現金及び預金	7,754	5,614
受取手形及び売掛金	9,062	9,300
商品及び製品	5,871	5,805
仕掛品	171	328
原材料及び貯蔵品	1,023	1,249
繰延税金資産	425	417
その他	668	615
固定資産	14,840	15,629
有形固定資産	12,812	13,325
建物及び構築物(純額)	6,234	6,436
機械装置及び運搬具(純額)	2,897	3,196
土地	3,074	3,074
建設仮勘定	93	34
その他(純額)	512	583
無形固定資産	418	521
投資その他の資産	1,609	1,783
投資有価証券	768	997
長期前払費用	25	17
繰延税金資産	528	467
その他	287	299
資産合計	39,819	38,959

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2015年9月30日)	前連結会計 年度末 (2015年3月31日)
負債の部		
流動負債	5,122	6,167
支払手形及び買掛金	2,139	1,940
短期借入金	—	786
未払法人税等	1,150	1,287
その他	1,833	2,153
固定負債	2,269	2,212
退職給付に係る負債	1,401	1,355
繰延税金負債	392	373
資産除去債務	9	9
その他	465	473
負債合計	7,392	8,379
純資産の部		
株主資本	29,936	27,805
資本金	1,180	1,180
資本剰余金	1,667	1,667
利益剰余金	27,092	24,961
自己株式	△3	△3
その他の包括利益累計額	2,485	2,769
非支配株主持分	4	5
純資産合計	32,427	30,580
負債純資産合計	39,819	38,959

*短期借入金には一年以内返済予定長期借入金が含まれています。



連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
売上高	17,577	14,359
売上原価	10,745	9,118
売上総利益	6,832	5,240
販売費及び一般管理費	3,267	2,969
営業利益	3,564	2,270
営業外収益	101	53
営業外費用	5	24
経常利益	3,660	2,299
特別利益	104	1
特別損失	1	9
税金等調整前四半期純利益	3,762	2,291
法人税等	1,316	849
四半期純利益	2,446	1,441
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,446	1,441

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,603	3,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300	△1,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,108	△936
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	101
現金及び現金同等物の増減額	2,148	1,486
現金及び現金同等物の期首残高	5,521	3,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,670	4,728

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

Point 1 連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億5千9百万円増加し、398億1千9百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。負債については、前連結会計年度末に比べ9億8千7百万円減少し、73億9千2百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少および未払法人税等の減少によるものです。

Point 2 連結損益計算書

当第2四半期連結累計期間においては、売上高・各利益ともに過去最高を達成しました。

円安の影響を受け、輸入原材料価格が引き続き上昇しましたが、原油安の影響もあり、一部製品では利益率の改善がみられました。

また、特別利益として投資有価証券売却益1億4百万円を計上しています。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

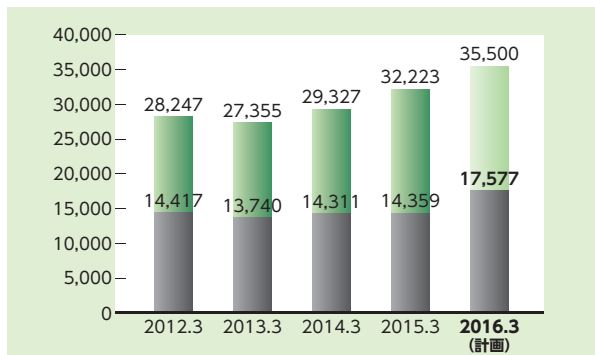
当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の発生により取得した資金を有形固定資産の取得および長期借入金の返済に充てた結果、前連結会計年度末に比べ21億4千8百万円増加し、76億7千万円となりました。



業績ハイライト(連結)

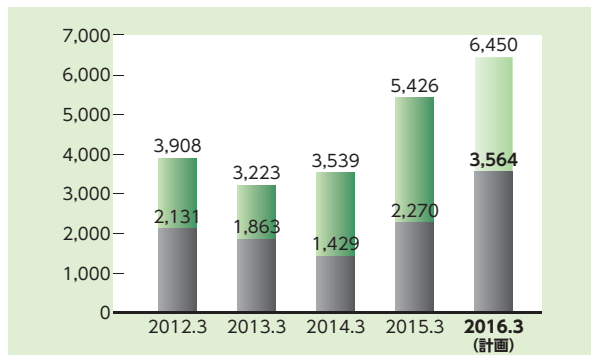
■売上高 (単位：百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



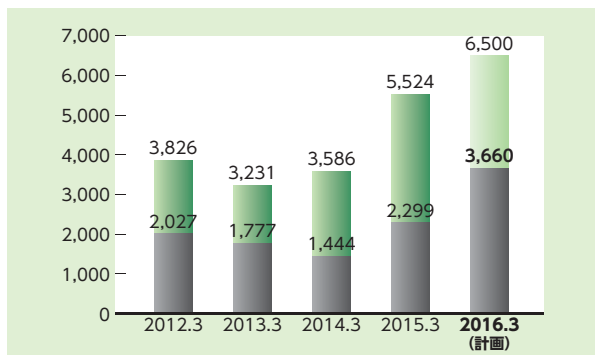
■営業利益 (単位：百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



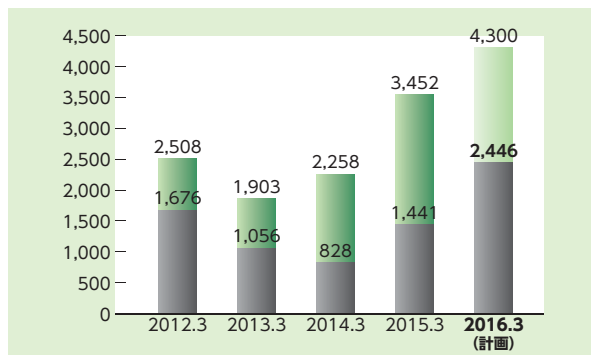
■経常利益 (単位：百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



第2四半期と通期における業績の推移

	2012年3月期		2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(計画)
売上高(百万円)	14,417	28,247	13,740	27,355	14,311	29,327	14,359	32,223	17,577	35,500
営業利益(百万円)	2,131	3,908	1,863	3,223	1,429	3,539	2,270	5,426	3,564	6,450
経常利益(百万円)	2,027	3,826	1,777	3,231	1,444	3,586	2,299	5,524	3,660	6,500
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,676	2,508	1,056	1,903	828	2,258	1,441	3,452	2,446	4,300
償却前営業利益(百万円)	3,077	5,781	2,662	4,860	2,197	5,384	3,221	7,573	4,464	8,349
1株当たり当期純利益(円)	53.20	79.60	33.52	60.42	26.29	71.68	45.75	109.57	77.64	136.49



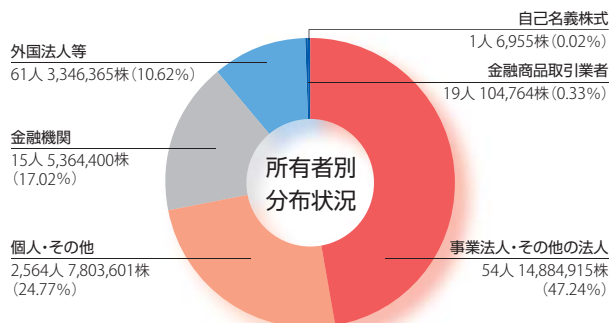
株式の状況

(2015年9月30日現在)

- 発行可能株式総数：95,000,000 株
- 発行済株式の総数：31,511,000 株
(自己株式が6,955株含まれています。)
- 株主数：2,714 名

株主の分布

(2015年9月30日現在)



大株主

(2015年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
株式会社壽世堂	5,596,265	17.76%
帝國製薬株式会社	3,328,000	10.56%
赤澤 庄三	3,085,965	9.80%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,630,800	5.18%
大阪中小企業投資育成株式会社	1,600,625	5.08%
有限会社帝産	1,375,000	4.36%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,241,200	3.94%
株式会社日本触媒	1,186,500	3.77%
株式会社百十四銀行	1,127,500	3.58%
藤岡 実佐子	945,000	3.00%

※ 持株比率は、自己株式数を控除して計算しています。

株価の推移*

(株価：円)



(売買高：株)

※ 2014年10月1日付の株式分割(1:5)に伴い調整を行っています。



会社概要

会社概要

- 商号 扶桑化学工業株式会社
- 創業 1952年(昭和27年)
- 設立 1957年6月24日(昭和32年)
- 資本金 11億8,036万7,500円(2015年9月30日現在)
- 本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号
(日生伏見町ビル新館5階)
TEL.(06)6203-4771(代)
- 東京本社 東京都中央区日本橋小舟町6番6号(小倉ビル7階)
- 事業所 新大阪事業所 大阪府大阪市淀川区新高二丁目6番6号
京都事業所
京都第一工場 京都府福知山市長田野町一丁目5番地
京都第二工場 京都府福知山市長田野町二丁目8番地
福岡営業所 福岡県柳川市大和町豊原107番地の3
東京研究所 神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
かながわサイエンスパークR&D棟 A1009
大阪工場 大阪府堺市西区築港新町三丁目27番地10
十三工場 大阪府大阪市淀川区野中北二丁目10番30号
- 主要子会社 株式会社扶桑コーポレーション
(国内)
- 主要子会社 青島扶桑精製加工有限公司(中国)
(海外) 扶桑化学(青島)有限公司(中国)
PMP Fermentation Products, Inc.(アメリカ)
FUSO (THAILAND) CO., LTD.(タイ)

役員

(2015年9月30日現在)

■名誉会長および取締役

- ファウンダー 名誉会長 赤澤庄三
- 代表取締役社長 赤澤良太
- 常務取締役 (管理本部長) 榎本修三
- 取締役 (電子材料事業部長) 政氏晴生
- 取締役 (ライフサイエンス事業部長) 谷村隆史
- 取締役 藤岡実佐子
- 取締役 多田智美
- 取締役 江黒早耶香

■監査役

- 常勤監査役 武川隆彦
- 常勤監査役 赤澤敬敏
- 監査役 木下善樹

■執行役員

- 上席執行役員 中永吉信
(PMP Fermentation Products, Inc. 副社長)
- 執行役員 杉田真一
(電子材料事業部 電子材料本部長 兼 京都事業所長)
- 執行役員 中司哲浩
(ライフサイエンス事業部 営業開発部 福岡営業所長
兼 株式会社扶桑コーポレーション 代表取締役社長)
- 執行役員 榎本源樹
(ライフサイエンス事業部 営業開発部長)



- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月末日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しています。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

■公告の方法

電子公告とする<<http://www.fusokk.co.jp/>>

■上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第一部

【利益配分に関する基本方針】

当社は、剰余金の処分につきましては、長期にわたり安定的に株主の皆様へ報いるという基本方針のもと、企業体質の強化ならびに今後の事業展開を勘案して行うこととしております。

FUSO  扶桑化学工業株式会社

<http://www.fusokk.co.jp/>

VOC
FREE T&K

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用して印刷しました。